



「幸福」 vs 「ウェルビーイング」

近頃よく耳にする言葉の一つが「ウェルビーイング」です。この言葉の語源は、はるか昔、16世紀のイタリア語“benessere(ベネッセ)『幸せ・福祉』”にさかのぼります。

「幸福“happiness(ハピネス)”」が一個人の感情であるのに対して、「ウェルビーイング」は個人を取り巻くもの全体が良い状態であることを指します。そして、周りの人と共に成長する喜びを実感する日々を重ねることが『ウェルビーイングな人生』につながるのです。

私たち和光中学校は、昨年度より他校にほとんど類を見ない「縦割りチーム活動」を続けています。これまで、学年の壁を越えて励まし合い、力を合わせて一つのことに取り組んできました。10月の音楽祭本番が間近に迫ったある日のことです。『勝つ井チーム』の先生が次のように言いました「本番で歌う前に、うちのチームはみんな『かけ声』をやります。楽しみにしててください。」それに対して、(審査員の一人として)「かけ声は、審査の点数には影響ありませんよ。」と言ったところ、「いやあそんなことはねらっていません。うちが最初に歌うんで、うわーっと活気が出たら後のチームも頑張れると思うんで。」と返ってきました。そして、本番のステージで見せたパフォーマンスは、(大きな声で)「チームを愛し、行事を愛する、『チーム勝つ井』、ぜったいに勝つ、(ここで全員がガッツポーズを見せてから大きな声で)『ドーン！！』。」自分たちの得点の1点にもならないことを知っていて、それでも行事を盛り上げようとチーム一丸となって声をあげて頑張りました。まさしく「ウェルビーイング」を体現する姿でした。ここで、皆さんの音楽祭の振り返りの一部を紹介します。

<M-1>

- ・3年生として最後の音楽祭だったのでやっぱり優勝したいと思いました。自分は、チームの雰囲気づくりを大切にするために、いつも明るく1・2年生と接してきました。
- ・音楽祭が近づいていくほどみんなの声がまとまっていき、とてもうれしかったです。

<ポッピングシャワー>

- ・私はチームリーダーとして練習のときはできるだけ早く行き、少しでも長い時間練習をして男子と女子がしっかり歌声を合わせられるように頑張りました。
- ・全校合唱の「サザンカ」は、ハイスタッフホールで歌ったときもきれいだったけれど、全校生で歌うと、とても響き合っていて気持ちよかった。
- ・練習のときにみんながしゃべってうるさいときに、チームリーダーが声を出してチームをまとめようと頑張ってくれました。

<勝つ井>

- ・チームリーダーが最初から最後まで改善点や良かった点をみんなの前で発表し、チームのやる気が出るようにしてくれました。チームで1番はとれなかったけれど、チームで頑張ることができてよかったです。



いよいよ12月14日は今年最後の全校行事「校内リレーマラソン」です。本番に向けて、今日も寒風吹き荒(対)ぶ中で練習をしました。各チームの応援パフォーマンスも楽しみにしています。